



ひかりだより No.2

令和4年5月9日

練馬区立光が丘春の風小学校

お手伝いを通して

先月の保護者会で「家庭での支援・取り組み」として、お子さんと相談してお手伝いを決めるようお話をさせていただきました。お手伝いを毎日継続することは、自立にもつながっていきます。ぜひ、約束として継続して取り組めるよう、ご家庭での声かけをお願いいたします。

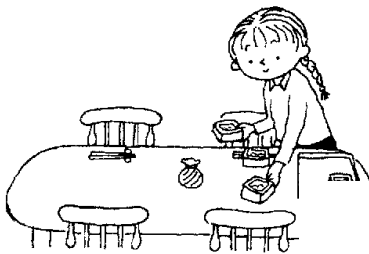


自分のことは自分です

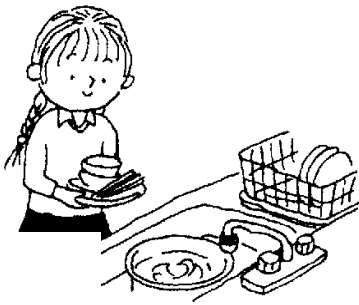
高学年で経験する移動教室で、脱いだ服や使ったふとんをそのままにして、友達に注意されてやっと整理を始めるといふ子どもをよく見かけます。このような子どもたちは、後片付けをいつも親がしてくれるので、自分では何もしないようです。その結果、親から離れたときに、自分では何もできず周りの人に手助けをしてもらい、他の人に迷惑をかけることになります。

起きてから寝るまでの間に、自分でしなければならないことはたくさんあります。ふとんやベッドの整理、食事のしたく、後片付けなどです。ひとつひとつ教えて子どもにさせるより、大人がする方が早く終わります。しかし、それではいつまでたっても自分でできるようにはなりません。早く、上手にできるように段階的にアドバイスをしながら、お手伝いとして自分のことは自分ですることはもちろん、家族のために自主的に行動することができるように声をかけていきましょう。

お手伝いの例



食器の配膳



食器の後片付け



洗濯物たたみ



洗濯物の取り込み